# 第 81 回神奈川県立座間谷戸山公園
# 現場研修会報告

―テーマ :樹林環境の順応的管理 ―

１月の研修会では、ホトケドジョウの生息環境再生のための樹木の除伐を行いました。また、皆伐更新区域での管理作業は雨のため中止し、来年度の活動計画を話し合いました。

２４年最初の現場研修は、とても寒くあいにくの雨でしたが、マガモやカルガモは元気に泳いでいました。

さっそく北谷戸へ移動し、前回に引き続きホトケドジョウのビオトープ再生のための間伐作業開始です。

ホトケドジョウは、水温が低く流れが緩やかな川や湿地に生息し、水草や水中の枯草などに卵を産みます。

現在の谷戸は樹木に覆われているため全体的に暗く、水路にも陽の光が届かず、産卵に必要な水草も育ちにくい環境になってしまっています。

なので、常緑樹のシラカシ・ヒサカキを間伐し、
ホトケドジョウを含む多くの生きものが暮らしやすい水路を目指し、作業を行っていきます。

斜面に生えている樹木は、切り倒しやすいように木が傾いている方向とは逆側から
伐っていきます。
細い樹木は切り倒すのが簡単そうと思うかもしれませんが、
高く成長している樹木は細くても伐るのは大変で、実際はかなり力の要る作業になります。

間伐した樹木は谷戸の水路の管理や公園の補修などに使用され、
枝や葉は木の根元などにまとめておき、土壌生物に分解してもらい、土に戻します。

これまでの作業の成果か、陽の当たるようになった水路にはセリなどの植物が見られるようになりました。
作業を行った成果が目に見える形で表れると、これまでの努力が報われる気がします。

雨が止まなかったため午後の皆伐更新区域での作業は中止し、去年 11 月に開催された谷戸山まつりの振り返りと、来年度の作業計画を話し合いました。

来年度の作業では、樹林の更新、ホトケドジョウのビオトープ再生の他、過去に実施した水鳥の池の掻掘りを夏～初秋の間に行いたいとのお話が講師からありました。

現在の水鳥の池は、以前掻掘りをしてから約３年経っているので、土砂や落ち葉などが堆積してしまっていると考えられます。また、浅瀬に木の杭柵を打ってしまっているため水辺移行帯が無く、水草も減ってきています。

そこで、池の底に溜まった泥の除去や、水辺移行帯をつくるなどの作業を行っていこうということになりました。

より良い作業を行うために、掻掘り前に、水鳥の池の現状を調査し、
過去の掻掘りデータを比較するなどして最善策を話し合いたいとのことでした。
その他に、水鳥の池の掻掘りを通して、市民の方にも生きもののサポートを
呼び掛けるきっかけ作りに繋がればいいといった意見が出されました。

今後の研修会で引き続き検討を重ねていきたいと思います。

これで今回の研修会は終わりです。 ２月も引き続き、「樹林環境の順応的管理」というテーマで皆伐更新地区の順応的管理と、ホトケドジョウのビオトープ再生を行う予定です。 来年度は水鳥の池の掻掘りなど、普段あまり体験することができない研修も計画しております。少しでも興味をお持ちいただけたなら是非参加ください。